



第14回

Group goût

Gg展

2025. 7.15(火)~7.21(月・祝)

ふくやま美術館ギャラリー **入場無料**

開館時間 9:30 - 17:00 / 最終日 16:30 まで

主催：グループ・グー (Group goût)

後援：福山市 公益財団法人ふくやま芸術文化財団 ふくやま美術館 エフエムふくやま 尾道エフエム放送

中国新聞販売本社 株式会社ちゅピCOM ひろしまインターネット美術館 広島テレビ 広島ホームテレビ 株式会社尾道新聞社 協賛：RoseArt



戦後80年目の美術

2月に沖縄を訪れた。ひめゆりの塔を見た後、県立美術館に行って沖縄戦後美術のコレクション展を見た。80年前の4月に米軍が沖縄本島中部西海岸に上陸して、数ヶ月の地上戦で全て焼き尽くした。ひめゆり学徒隊の悲劇もそのひとつだった。沖縄戦後美術は、米軍統治下で名瀬山登順（絵画）や玉那覇正吉（彫刻）などが先頭に立ち、集土の中でたたかき始動していた。以後、1970年代の本土復帰、沖縄海洋博を経て、モダニズムに迷む様子が展示室に並び、その足跡が如実に示されていた。

大空襲で焼けた福山を考えると、福山城天守閣焼失跡地で1947年に産業復興博覧会が開かれ、そのバラック会場で美術展も開かれた。そこに佐々田憲一郎などの画家たちが駆けつけ、美術復興が始まったとの記録がある。いつでも美術家たちは誰からも強要されず、自由に創作したと思っていたのだ。そういう強い思いが戦後80年の美術表現の根柢に流れている。

Gg展も回を重ねて14回目となる。それぞれの個性を生かしながらも緩やかにつながる美術作家たちのグループとして誕生した。若い世代からベテラン世代まで入り混じって年2回ほど展覧会をする。統一したテーマや傾向もなく、大きさの制限もない様々な表現を展示する。写実的な傾向や物語風の表現、風景画、シュールな表現、ポップな表現、抽象的な表現、物質的な彫刻などである。そのような特色ある15人の作品を眺めしめながら見ていただきたい。それぞれが戦後80年目の美術表現を体現しているといってもよいだろう。

谷藤史彦（下瀬美術館 芸術館長）

*Gg展は、2012年に高池・渋谷・長谷川・和田の4人によって結成され、仲間を増やしつつ活動を続けるグループ・グー（Group goût）の展覧会である。

1 足立 陽子

《sein》

2 板倉 文香

《Poison Itty》

3 岡 孝博

《RAIL WORK XIII》

4 高池 秀明

《風の記憶》

5 酒井 一樹

《島と人》

6 渋谷 清

《GOTHIC》

7 菅原 瑠子

《雲》

8 瀬尾 佳枝

《水玉》

9 田窪 薫

《恐れを、許す》

10 橋野 仁史

《UNTITLED》

11 長谷川 雅敏

《崖の街》

12 花岡 寿一

《カナウ》

13 牧原 竜浩

《福山城(2025)》

14 横田 招

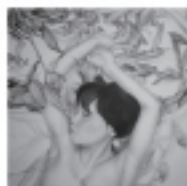
《Ren24》

15 和田 進雄

《衝 02-06》



1



2



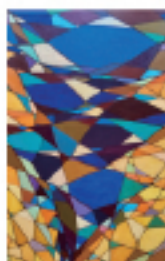
3



4



5



6



7



8



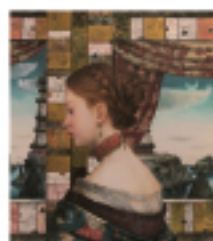
9



10



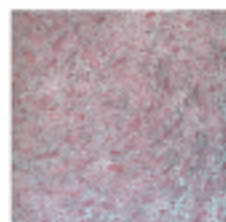
11



12



13



14



15

【出品作家によるギャラリートーク】

○日時 / 7月20日(日) 14:00~15:00

○場所 / ギャラリー内



【缶バッジを作ろう！】

○日時 / 7月19日(土) 13:00~14:00

20日(日) 13:00~14:00

15:00~16:00

○場所 / ギャラリー内

○申し込み不要。

材料がなくなり次第終了。



○第14回Gg展〈入場無料〉

○会期 / 2025年7月15日(火)~7月21日(月・祝)

○開館時間 / 9:30~17:00 [最終日は16:30まで]

○会場 / ふくやま美術館ギャラリー

〒720-0067 広島県福山市西町2丁目4-3

○問合せ先 / sankaku Gallery 070-3775-3339

【出品作家の情報、展示案内などはこちら】

○展示やイベント等の変更は
こちらから確認できます。

